

ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース

運用報告書（全体版）（第18作成期）

第100期（2023年5月25日） 第103期（2023年8月25日）
第101期（2023年6月26日） 第104期（2023年9月25日）
第102期（2023年7月25日） 第105期（2023年10月25日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。


商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年12月19日から2025年4月25日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネープールマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、2023年10月25日に第105期決算を行いましたので、第100期から第105期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・トラスト (ケイマン)Ⅲ- ブラジル株式アルファ ファンド(道格 機関投資家限定) (ツイン・アルファ・ クラス)の 組入比率	純 資 産 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
		円	円	%	%	%	%	百万円
第14 作成期	76期(2021年5月25日)	479	15	4.9	—	—	98.5	14,260
	77期(2021年6月25日)	517	10	10.0	—	—	98.5	15,487
	78期(2021年7月26日)	480	10	△5.2	—	—	98.8	12,778
	79期(2021年8月25日)	446	10	△5.0	—	—	98.6	11,793
	80期(2021年9月27日)	415	10	△4.7	—	—	98.7	10,745
	81期(2021年10月25日)	374	10	△7.5	—	—	98.4	9,604
第15 作成期	82期(2021年11月25日)	370	10	1.6	—	—	98.7	9,214
	83期(2021年12月27日)	359	5	△1.6	—	—	98.9	8,686
	84期(2022年1月25日)	369	5	4.2	—	—	98.8	8,067
	85期(2022年2月25日)	397	5	8.9	—	—	98.9	8,018
	86期(2022年3月25日)	435	5	10.8	—	—	98.6	8,628
	87期(2022年4月25日)	409	5	△4.8	—	—	98.6	7,717
第16 作成期	88期(2022年5月25日)	402	5	△0.5	—	—	98.9	7,607
	89期(2022年6月27日)	341	5	△13.9	—	—	98.5	6,339
	90期(2022年7月25日)	328	5	△2.3	—	—	98.7	6,173
	91期(2022年8月25日)	370	5	14.3	—	—	98.5	6,948
	92期(2022年9月26日)	377	5	3.2	—	—	99.0	7,030
	93期(2022年10月25日)	384	5	3.2	—	—	98.6	7,027
第17 作成期	94期(2022年11月25日)	344	5	△9.1	—	—	98.9	6,296
	95期(2022年12月26日)	331	5	△2.3	—	—	98.6	6,082
	96期(2023年1月25日)	332	5	1.8	—	—	98.8	6,132
	97期(2023年2月27日)	322	5	△1.5	—	—	98.5	5,890
	98期(2023年3月27日)	289	5	△8.7	—	—	98.6	5,308
	99期(2023年4月25日)	310	5	9.0	—	—	98.8	5,727
第18 作成期	100期(2023年5月25日)	324	5	6.1	—	—	98.6	6,020
	101期(2023年6月26日)	353	5	10.5	—	—	98.7	6,477
	102期(2023年7月25日)	355	5	2.0	—	—	98.7	6,460
	103期(2023年8月25日)	336	5	△3.9	—	—	98.5	6,095
	104期(2023年9月25日)	332	5	0.3	—	—	98.6	6,046
	105期(2023年10月25日)	321	5	△1.8	—	—	98.6	5,884

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日		基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III- ブラジル株式アルファ・ ファンド (通称 機関投資家限定) (ツイン・アルファ・ クラス) 率 組 入 比 率
			円	%			
第100期	期 首 (前期末)	2023年 4 月 25 日	310	—	—	—	% 98.8
		4 月 末	310	0.0	—	—	98.5
	期 末	2023年 5 月 25 日	329	6.1	—	—	98.6
第101期	期 首 (前期末)	2023年 5 月 25 日	324	—	—	—	98.6
		5 月 末	320	△ 1.2	—	—	98.5
	期 末	2023年 6 月 26 日	358	10.5	—	—	98.7
第102期	期 首 (前期末)	2023年 6 月 26 日	353	—	—	—	98.7
		6 月 末	350	△ 0.8	—	—	98.6
	期 末	2023年 7 月 25 日	360	2.0	—	—	98.7
第103期	期 首 (前期末)	2023年 7 月 25 日	355	—	—	—	98.7
		7 月 末	353	△ 0.6	—	—	98.5
	期 末	2023年 8 月 25 日	341	△ 3.9	—	—	98.5
第104期	期 首 (前期末)	2023年 8 月 25 日	336	—	—	—	98.5
		8 月 末	340	1.2	—	—	98.5
	期 末	2023年 9 月 25 日	337	0.3	—	—	98.6
第105期	期 首 (前期末)	2023年 9 月 25 日	332	—	—	—	98.6
		9 月 末	327	△ 1.5	—	—	98.5
	期 末	2023年10月25日	326	△ 1.8	—	—	98.6

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

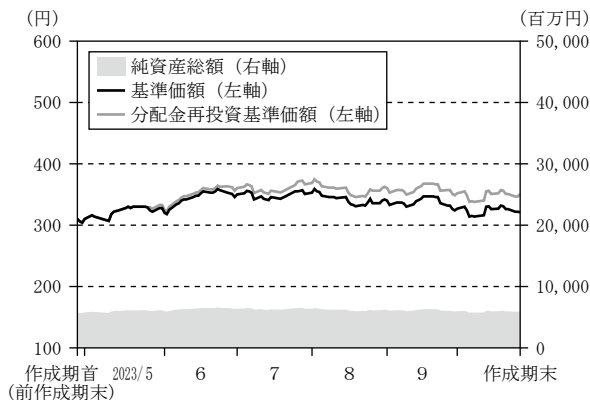
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第100期首：310円

第105期末：321円（既払分配金30円）

騰落率：13.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年4月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、主に米ドルが円に対し上昇した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

ブラジル株式市場は上昇しました。ブラジル中央銀行が2023年5月の金融政策決定会合で政策金利を据え置いたことや、ブラジルの鉱工業生産や消費関連の経済指標が市場予想を上回る伸びを示したことなどが買い安心感につながったほか、ブラジル中央銀行によるインフレ見通しの引下げやインフレの鈍化を示す経済指標を受けて、早期利下げ観測が強まったことなどを背景に、7月下旬にかけて株価は概ね上昇基調で推移しました。その後は、ブラジルの主要貿易相手国である中国における景気減速懸念、米国の長期金利の高止まりなどが投資家心理を冷やし、株価は下落しました。ブラジルのインフレ指標が市場予想を上回る伸びとなったことを受けて、9月の大幅利下げへの期待が後退したことも株価の弱気材料となり、8月中旬にかけて株価は軟調に推移しました。その後は、ブラジルのインフレの落ち着きを示す経済指標、中国人民銀行による預金準備率の引下げや景気刺激策への期待などが株価を押し上げた一方、米国における長期金利の上昇や年内追加利上げ観測の強まり、急速な通貨ブラジルレアル安の進行、中国の不動産大手企業の信用問題などが投資家心理を冷やし、株価は上下に振れる展開となりました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	14.3%
マネープールマザーファンド	△ 0.0

【為替市況】

円・米ドル相場は円安米ドル高となりました。作成期初から2023年6月にかけては、米国における根強いインフレのもと、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ局面が長期化するとの観測が強まった一方、4月の日銀金融政策決定会合で大規模金融緩和の継続が示されたことを受けて、米ドルは円に対し上昇しました。しかし7月前半には、米国のインフレが鈍化し、FRBによる金融引締めへの警戒が幾らか和らいだことに加え、日銀の金融政策修正への思惑等を背景に、円高米ドル安基調に転じました。その後は、米国の高金利環境が長期化するとの観測が強まった一方、日銀が現行の金融緩和策を当面維持する姿勢を示したこと等から、両国の金利差が改めて意識され、概ね円安米ドル高で推移しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.18\%$ から作成期末は $\Delta 0.20\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

【マネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第100期から第105期まで各5円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金+ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

【マネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は2023年7月の金融政策決定会合において長短金利操作の運用の柔軟化を決定しましたが、依然として金融緩和を継続する姿勢を示しており、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2023年 4 月 26 日から2023年10月25日まで)

費用の明細

項目	第100期～第105期		項目の概要
	2023/4/26～2023/10/25		
	金額	比率	
平均基準価額	333円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	2円 (1) (1) (0)	0.731% (0.275) (0.440) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.015 (0.015)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	2	0.754	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

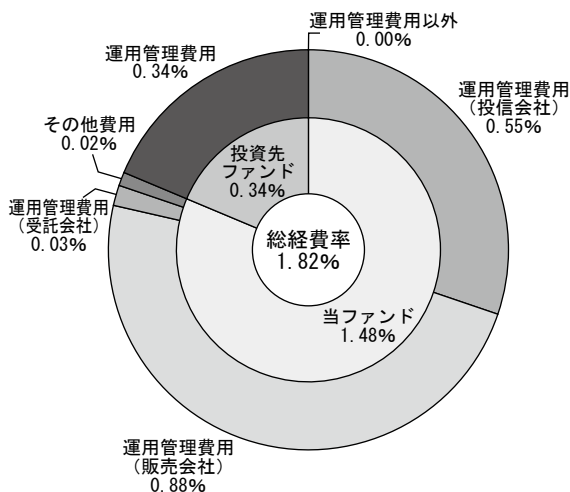
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2023年4月26日から2023年10月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第 100 期 ~ 第 105 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口 691,376	千円 185,000	口 913,079	千円 258,086

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 100 期 ~ 第 105 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド	千口 6,318	千円 6,400	千口 -	千円 -	

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2023年4月26日から2023年10月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2023年10月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第99期末)	当 作 成 期 末 (第 105 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	22,366,061	22,144,358	5,801,821	98.6

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 99 期 末)	当 作 成 期 末 (第 105 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
マネープールマザーファンド	42,892	49,210	49,835

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は52,365千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2023年10月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 105 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	5,801,821	96.7
マネープールマザーファンド	49,835	0.8
コール・ローン等、その他	148,847	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	6,000,503	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年5月25日現在 2023年6月26日現在 2023年7月25日現在 2023年8月25日現在 2023年9月25日現在 2023年10月25日現在

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
(A) 資産	6,137,127,027円	6,609,072,464円	6,567,488,402円	6,199,926,953円	6,155,984,878円	6,000,503,307円
コール・ローン等	158,524,199	166,336,029	144,350,955	143,963,501	143,790,998	148,845,644
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ ファンド(道格機関投資家限定 (ツイン・アルファ・クラス) (評価額)	5,935,152,982	6,392,890,878	6,373,296,811	6,006,122,816	5,962,358,165	5,801,821,948
マネー・プールマザーファンド(評価額)	43,449,846	49,845,557	49,840,636	49,840,636	49,835,715	49,835,715
(B) 負債	116,410,525	131,574,370	107,251,718	104,822,426	109,806,201	116,077,455
未払債金	—	—	—	3,000,000	—	—
未払収益分配金	92,999,009	91,696,891	90,979,641	90,600,103	91,024,472	91,726,185
未払解約金	16,204,600	31,739,256	8,845,816	3,409,711	11,068,500	17,161,342
未払信託報酬	7,131,549	8,053,117	7,348,612	7,730,972	7,632,615	7,114,785
未払利息	308	347	307	269	281	261
その他未払費用	75,059	84,759	77,342	81,371	80,333	74,882
(C) 純資産総額(A-B)	6,020,716,502	6,477,498,094	6,460,236,684	6,095,104,527	6,046,178,677	5,884,425,852
元本	185,998,018,900	183,393,783,092	181,959,282,456	181,200,207,450	182,048,944,125	183,452,370,683
次期繰越損益金	△179,977,302,398	△176,916,284,998	△175,499,045,772	△175,105,102,923	△176,002,765,448	△177,567,944,831
(D) 受益権総口数	185,998,018,900口	183,393,783,092口	181,959,282,456口	181,200,207,450口	182,048,944,125口	183,452,370,683口
1万口当たり基準価額(C/D)	324円	353円	355円	336円	332円	321円

(注) 当ファンドの第100期首元本額は184,932,275,912円、第100～105期中追加設定元本額は21,075,207,481円、第100～105期中一部解約元本額は22,555,112,710円です。

(注) 元本の欠損

第105期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は177,567,944,831円です。

(注) 第105期末の1口当たり純資産額は0.0321円です。

損益の状況

自2023年4月26日 自2023年5月26日 自2023年6月27日 自2023年7月26日 自2023年8月26日 自2023年9月26日
至2023年5月25日 至2023年6月26日 至2023年7月25日 至2023年8月25日 至2023年9月25日 至2023年10月25日

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(A) 配当等収益	89,023,218円	87,514,323円	87,176,815円	108,267,564円	108,848,424円	109,615,545円
受取配当金	89,027,665	87,519,876	87,180,854	108,271,580	108,853,216	109,619,513
支払利息	△ 4,447	△ 5,553	△ 4,039	△ 4,016	△ 4,792	△ 3,968
(B) 有価証券売買損益	266,590,812	546,622,677	44,894,777	△ 344,164,719	△ 88,036,127	△ 216,978,653
売買利益	269,175,127	553,781,316	44,512,836	531,987	△ 676,993	1,988,992
売買損益	△ 2,584,315	△ 7,158,639	381,941	△ 344,696,706	△ 87,359,134	△ 218,967,645
(C) 信託報酬等	△ 7,206,608	△ 8,137,876	△ 7,425,954	△ 7,812,343	△ 7,712,948	△ 7,189,667
(D) 当期損益金(A+B+C)	348,407,422	625,999,124	124,645,638	△ 243,709,498	13,099,349	△ 114,552,775
(E) 前期繰越損益金	△ 6,559,176,194	△ 6,066,745,766	△ 5,413,251,036	△ 5,249,398,434	△ 5,520,223,663	△ 5,526,356,069
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△173,673,534,617	△171,383,841,465	△170,119,460,733	△169,521,394,888	△170,404,616,662	△171,835,309,802
(G) 合計(D+E+F)	(18,299,813,469)	(18,039,038,125)	(17,893,008,541)	(17,810,403,411)	(17,894,227,640)	(18,033,378,587)
(H) 収益分配金	△179,884,303,389	△176,824,588,107	△175,408,066,131	△175,014,502,820	△175,911,740,976	△177,476,218,646
(売買損益相当額)	(△191,973,348,086)	(△189,422,879,590)	(△188,012,469,274)	(△187,331,798,299)	(△188,298,844,302)	(△189,868,688,389)
(信託報酬等相当額)	(18,299,813,469)	(18,039,038,125)	(17,893,008,541)	(17,810,403,411)	(17,894,227,640)	(18,033,378,587)
(次期繰越損益金)	(△179,977,302,398)	(△176,916,284,998)	(△175,499,045,772)	(△175,105,102,923)	(△176,002,765,448)	(△177,567,944,831)
(追加信託差損益金)	(△173,673,534,617)	(△171,389,147,060)	(△170,128,165,431)	(△169,521,394,888)	(△170,404,616,662)	(△171,835,309,802)
(配当等相当額)	(18,299,813,469)	(18,033,732,530)	(17,884,303,843)	(17,810,403,411)	(17,894,227,640)	(18,033,378,587)
(売買損益相当額)	(△191,973,348,086)	(△189,422,879,590)	(△188,012,469,274)	(△187,331,798,299)	(△188,298,844,302)	(△189,868,688,389)
(分配準備立金)	—	—	—	9,855,118	19,926,610	30,517,465
(繰越損益金)	△ 6,297,988,176	△ 5,527,137,938	△ 5,370,880,341	△ 5,593,563,153	△ 5,618,075,396	△ 5,763,152,494

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第100期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（87,219,404円）、費用控除後の有価証券売却等損益（0円）および収益調整金（18,299,813,469円）より、分配対象収益は18,387,032,873円（1万口当たり988円）であり、うち92,999,009円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第101期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（86,391,296円）、費用控除後の有価証券売却等損益（0円）および収益調整金（18,039,038,125円）より、分配対象収益は18,125,429,421円（1万口当たり988円）であり、うち91,696,891円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第102期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（82,274,943円）、費用控除後の有価証券売却等損益（0円）および収益調整金（17,893,008,541円）より、分配対象収益は17,975,283,484円（1万口当たり987円）であり、うち90,979,641円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第103期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（100,455,221円）、費用控除後の有価証券売却等損益（0円）および収益調整金（17,810,403,411円）より、分配対象収益は17,910,858,632円（1万口当たり988円）であり、うち90,600,103円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第104期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（101,135,476円）、費用控除後の有価証券売却等損益（0円）、収益調整金（17,894,227,640円）および分配準備積立金（9,815,606円）より、分配対象収益は18,005,178,722円（1万口当たり989円）であり、うち91,024,472円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第105期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（102,425,878円）、費用控除後の有価証券売却等損益（0円）、収益調整金（18,033,378,587円）および分配準備積立金（19,817,772円）より、分配対象収益は18,155,622,237円（1万口当たり989円）であり、うち91,726,185円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2023年4月26日 ～2023年5月25日	2023年5月26日 ～2023年6月26日	2023年6月27日 ～2023年7月25日	2023年7月26日 ～2023年8月25日	2023年8月26日 ～2023年9月25日	2023年9月26日 ～2023年10月25日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
（対基準価額比率）	1.520	1.397	1.389	1.466	1.484	1.534
当期の収益	4	4	4	5	5	5
当期の収益以外	0	0	0	—	—	—
翌期繰越分配対象額	983	983	982	983	984	984

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）
（ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用基本方針	<p>（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>（シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主な投資対象	クレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を投資対象とします。
投資態度	<p>（ツイン・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 <p>（シングル・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	<ol style="list-style-type: none"> ①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
配 分 方 針	原則として、毎月分配を行います。
投資運用会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) (2) : バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3) : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2022年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	112,830口
ツイン・アルファ・クラス	22,424,932
合計	22,537,762口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2021年12月1日～2022年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	1,208,893,340
担保付スワップ取引に係る純損益	397,661,668
収益合計	1,606,555,008
運用費用	26,093,970
運用費用合計	26,093,970
運用損益	1,580,461,038
分配前の期中の純資産変動	1,580,461,038
支払分配金	(1,182,799,370)
分配後の期中の純資産変動	397,661,668

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2022年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	1,128,297,450	125,917,995
ツイン・アルファ・クラス	224,249,322,620	6,570,505,154
合計		6,696,423,149

(注) 日付は現地基準です。

マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第17期（決算日 2022年11月10日）
（計算期間 2021年11月11日から2022年11月10日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2022年11月10日に第17期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
13期（2018年11月12日）	10,159	△0.1	—	—	百万円 157
14期（2019年11月11日）	10,152	△0.1	—	—	213
15期（2020年11月10日）	10,145	△0.1	—	—	109
16期（2021年11月10日）	10,139	△0.1	—	—	75
17期（2022年11月10日）	10,133	△0.1	—	—	57

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債 組 入 比 %	券 率 %	債 先 物 比 %	券 率 %
期首 (前期末) 2021年11月10日	10,139	—	—	—	—	—
11月末	10,138	△0.0	—	—	—	—
12月末	10,138	△0.0	—	—	—	—
2022年1月末	10,137	△0.0	—	—	—	—
2月末	10,137	△0.0	—	—	—	—
3月末	10,137	△0.0	—	—	—	—
4月末	10,136	△0.0	—	—	—	—
5月末	10,136	△0.0	—	—	—	—
6月末	10,135	△0.0	—	—	—	—
7月末	10,135	△0.0	—	—	—	—
8月末	10,135	△0.0	—	—	—	—
9月末	10,134	△0.0	—	—	—	—
10月末	10,133	△0.1	—	—	—	—
期 末 2022年11月10日	10,133	△0.1	—	—	—	—

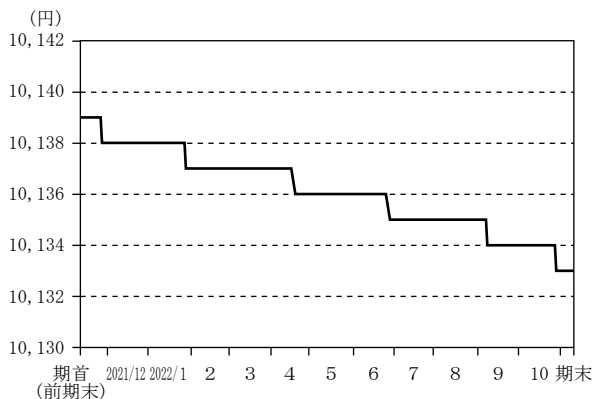
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,139円からスタートし、期末は10,133円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.12%から期末も△0.12%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2021年11月11日から2022年11月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2021/11/11～2022/11/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,135円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2021年11月11日から2022年11月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2021年11月11日から2022年11月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年11月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2022年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	57,882	100.0
投資信託財産総額	57,882	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	57,882,866円
コール・ローン等	57,882,866
(B) 負 債	101
未 払 利 息	101
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	57,882,765
元 本	57,121,661
次 期 繰 越 損 益 金	761,104
(D) 受 益 権 総 口 数	57,121,661口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,133円

(注) 期首元本額 74,199,367円
 期中追加設定元本額 305,836円
 期中一部解約元本額 17,383,542円

(注) 1口当たり純資産額は1,0133円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース 56,168,331円
 ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) シングルα・米ドルコース 953,330円

損益の状況

当期 自2021年11月11日 至2022年11月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 36,407円
受 取 利 息	916
支 払 利 息	△ 37,323
(B) 信 託 報 酬 等	△ 13
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 36,420
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,029,818
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,164
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 236,458
(G) 合 計(C+D+E+F)	761,104
次 期 繰 越 損 益 金(G)	761,104

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。